

543億円を認定

〈10特別会計・4企業会計も認定〉

厳しい財政運営を 強いられる！

13件の附帯意見を付し認定

平成20年度第3回奥州市議会定例会は、8月29日から9月24日までの27日間の会期で開催されました。人権擁護委員の推薦4件、奥州市行政財産使用料の一部改正等条例改正7件、衣川中学校屋内運動場改築建築工事の請負契約締結等5件、ならびに平成20年度奥州市一般会計等補正予算12件、平成19年度奥州市一般会計歳入歳出等決算認定15件、特別委員長報告4件、請願陳情等7件の審査報告が行われました。

平成19年度決算は、議長を除く全議員による決算特別委員会（安倍静夫委員長）を設置し、一般会計歳入総額548・3億円、歳出総額542・9億円、ならびに一般会計特別会計歳入総額968・4億円で対前年度比7・7%の減、歳出総額は960・9億円で対前年度比7・1%の減となり、歳入

歳出差し引き7・5億円の黒字決算ではありましたが、これに前年度決算の実質収支ならびに財政調整基金積立額及び取り崩し額を加減した実質単年度収支は、9・1億円の赤字となりました。特にも市税の収入未済額は、一般会計の市税、国民健康保険税が共に増加し17・6億円となっており、市は市税等収納率向上対策推進本部を設置し、関係課一丸となりその対応に当たっているが依然として増加傾向にある状況が議会から指摘されております。なお「自治基本条例の制定に当たっては、いっそう住民周知を図りたい」等各会計に13件の附帯意見を附してすべて原案通り認定されました。

一般質問は9月2日から9月5日までの4日間に亘って行われ、19名の議員が登壇し、市長、教育委員長の考えをたえました。

奥州金ヶ崎行政事務組合議会議員の補欠選挙

胆江地区広域行政組合、胆江地区消防組合及び胆江広域水道企業団が平成20年4月1日に奥州金ヶ崎行政事務組合として統合され、奥州市議会から10名、金ヶ崎町議会から3名の議員が派遣されておりますが、奥州市議会の石川和好議員のご逝去に伴い、欠員となっており、一名が今定例会で選任されております。

・藤田 慶 則議員（胆沢区）

人権擁護委員の推薦

奥州市が候補者を推薦し、法務大臣が任命する人権擁護委員のうち平成20年12月31日をもって任期満了となる委員について議会に諮問され次の方々が推薦されました。

・高橋 イマ子（水沢区）
・佐藤 司（前沢区）
・石川 松一郎（前沢区）
・安倍 希一（胆沢区）

